一般質問

（4～7ページ上段まで）

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は22人33件の一般質問がありました。

（他はその他の質問）

府中用水の維持管理等は市民協働での対応が重要と考えるがどうか

※アドプト制度の活用に向けた検討を行っている

加藤 雅大 議員（市政） 親水路や開渠（かいきょ）部分を含む用水路については、本市で集中豪雨などが起きた場合の対応処理能力などを含め、安全面における支障はないか。

都市整備部長 水門の閉鎖やポンプの停止操作により流水路を閉鎖するなどの対策を講じているが、過去に経験したことのない降雨量による浸水被害の発生も考えられるため、その際には、防災関係機関と連携して対応していく。

議員 府中用水の魅力ある景観を残していくためには、維持管理や緊急時において公助面の対応だけでなく自助、共助を含めた市民協働での対応が重要と考えるがどうか。

都市整備部長 緑道及び親水路の維持管理については、市インフラマネジメント計画の中でアドプト※制度を活用し進めていく方針であり、現在、実現に向けた検討を行っているところである。

※アドプト制度…道路や公園等の公共施設を市民団体や民間事業者が里親となり管理する制度

▲市内の用水路

観光大使の創設により府中の観光への宣伝効果が期待されると思うがどうか

市制施行60周年に合わせ創設することでより効果が期待できる

石川 明男 議員（市政） 市では平成24年に市観光振興プランを策定し、市の観光PRや特産品の紹介など様々な施策を展開している。

同プランでは、観光大使の創設を挙げており、市制施行60周年記念事業や開催が期待される東京オリンピック等にあわせた創設により、府中の観光への宣伝効果が期待されると思うがどうか。

市長 第6次府中市総合計画においても観光施策の方向性として、観光大使を通したPRによる観光客の誘致を新たに盛り込んでいる。市制施行60周年に合わせ観光大使を創設することがより効果的と考えるため、今後、関係団体と協議を進めていきたい。

生活環境部長 観光大使の形態は各自治体で様々であるため、創設に当たっては効果的な人材選定、任命方法、活動内容など本市にふさわしい観光大使制度を創設できるよう取り組んでいきたい。

他 多種多数の審議会・協議会等について

市立小・中学校における学校行事も含めた土曜登校日の統一化は

国の方向性を踏まえた上で方針を提示していく

手塚 歳久 議員（市フォ） 本市における、市立小・中学校の土曜登校日統一に関する方針を聞きたい。

教育部長 土曜日に授業を行う際は、学校に強く制限をかけず、かつ、地域活動に制約を生じさせないよう、原則として第1か第3土曜日としているところであるが、運動会などの学校行事は対象となっていない。

議員 土曜登校日が学校により様々なため、多くの方から不都合が生じると指摘がある。学校行事等も含めた土曜登校日の統一化についてどのように考えるか。

教育部長 国が立ち上げた土曜授業に関する検討チームでは、平成25年秋を目途に一定の成果を出すことを目指すとしている。そのため、今後は国の動向を注視し、国からの方向性が示されたら、それを踏まえた上での方針を提示していく。

他 市民墓地整備事業について●西府駅北口オーケーストア出店について

民間事業者との協働によるインフラマネジメントの取組は

けやき並木通り周辺の市道で包括管理委託を行う予定である

村木 茂 議員（市政） インフラや公共施設の維持管理について全国的に見直しが検討されていると思うが、本市も高野市政の柱の一つとして策定したマネジメント計画を迅速に進める必要があると考える。特にインフラマネジメントの取組では、民間企業のアイデアを取り入れることが重要と思うが、民間事業者や市民との協働に関する具体的な取組を聞きたい。

都市整備部長 民間事業者に対しては、道路管理業務の効率化や民間活力の活用を図るため、平成26年度から道路の清掃や維持補修、樹木のせん定などを一括して委託する包括管理委託をけやき並木通り周辺の市道で試行的に行う予定である。その後、委託の課題や効果等を検証し、市内全域での実施も検討したいと考えている。また、市民の方々に対しては、道路や公園の清掃、緑化活動を協働して行えるよう制度の構築に向けた準備を行っているところである。

中河原駅西側の鎌倉街道に新たな横断歩道の設置を申し入れる考えは

府中警察署へ要望するとともに警視庁交通規制担当者にも申し入れ等を行っていく

市川 一德 議員（市政） 府中四谷橋等の完成、下流の是政橋の複線化、稲城大橋の無料化などにより、鎌倉街道の交通量はどの程度減少したか聞きたい。

生活環境部長 府中四谷橋が開通する前年の平成9年と比較すると24年では鎌倉街道の車両流入量は約37％減少している。

議員 中河原駅の西側を通る鎌倉街道上にある中河原北歩道橋は、以前から多くの利用者が日々長い階段の上り下りに難儀していることから、一刻も早い改善が期待されている。

鎌倉街道の交通量の変化も踏まえ関係機関に対し、新たな横断歩道の設置を申し入れを行っていく考えはないか。

生活環境部長 交通量が減少している現状や信号機による制御技術の向上、利用者の希望等を踏まえ、市民が安全に横断できる環境を整えていただけるよう引き続き府中警察署に要望するとともに、警視庁の交通規制担当者にも申し入れ等を行っていく。

▲中河原駅付近の鎌倉街道

第3次市住宅マスタープランの中で施策の数値目標を設定する考えは

可能な施策については数値目標を設定するとともに市独自の目標設定も検討したい

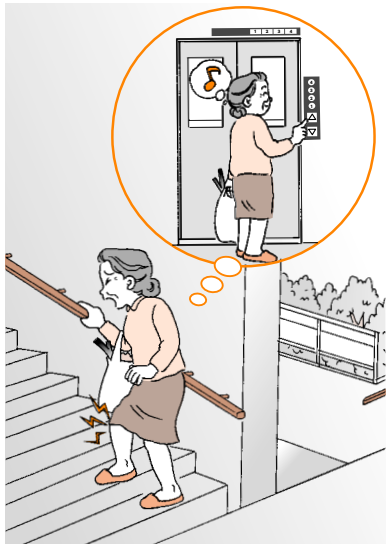
村崎 啓二 議員（市フォ） 現在、策定中の第3次市住宅マスタープランの中で、施策の数値目標を設定する考えはないか。

生活環境部長 可能な施策については数値目標を設定していきたい。また、国や都による目標設定の方が効果的な場合もあるため、国等の計画も考慮しつつ、市独自の目標設定も検討していきたい。

議員 低額所得者など住宅確保要配慮者への公的賃貸住宅の供給を定めた住宅セーフティーネット法を同プランの施策にどのように反映するか。

また、エレベーター設置を含む市営住宅のバリアフリー化についての考えは。

生活環境部長 施策への反映については、次期市福祉計画との関連も考慮しつつ検討していきたいと考えている。

また、エレベーター設置によるバリアフリー化については更に求められるものと認識しており、課題と捉えている。

他 市民住宅への配慮入居者制度の導入について（市民住宅の入居率向上に向けて）